



お疲れ様！大阪市廃止を阻止できました

必死で闘い「都構想」

Ⅱ大阪市廃止・特別区設置を阻止しました。皆様お疲れ様！今後も油断せず橋下との闘いをやり抜きましょう。

介護を巡って言えば行政交渉の相手として大阪市が残ったということ。ホッとしました。介護保険法大改悪や保険料の問題など私たちの闘いはこれからです。介護労働者の団結をつくりだし、事業者・自治体も巻き込んで国を動かす闘いをめざそう。

5/22介護保険重要学習会報告&6/17懇談会のご案内

五月二十二日「介護事業者も職員も 利用者・家族も これではやっていけない！介護保険重要学習会」は百人を超える方々にご参加いただき成功しました。お忙しい中、またお仕事のあと『エルおおさか』まで足を運んで下さった皆さん、応援して下さい皆さん、本当にありがとうございます。

五月二十二日「介護事業者も職員も 利用者・家族も これではやっていけない！介護保険重要学習会」は百人を超える方々にご参加いただき成功しました。お忙しい中、またお仕事のあと『エルおおさか』まで足を運んで下さった皆さん、応援して下さい皆さん、本当にありがとうございます。

機会を作ればと考えています。介護をめぐる関心の高さと課題の大きさを改めて感じたところですが、真剣に問題解決を求めて多くの関係者と出会い、繋がり、具体的に行動を起こしていけば、きっと変革の道筋も見えてくると実感できた学習会でもありました。

介護労働者が過半数

参加者は、過半数が介護関係者でした。事前の宣伝を効果的にできたと思います。その他、要介

根本的な問題は保険料とサービスの連動

講師の日下部雅喜さんは介護保険料に怒る一揆の会事務局長ですが介護保険を担当する現役の地方公務員でもあり、介護業界の参加者からは「わ

かりやすい」「おもしろかった」と好評でした。

講演内容は主に、四月からの介護保険法の大改悪と介護報酬のマイナス改定問題の二点でしたが、日下部さんは、介護保険料と介護サービスが連動するため、高齢者の保険料の値上げが既に限界にきている制度そのものの矛盾と問題点を鋭く指摘しながら話をされました。

介護報酬マイナス改定

国に黙って従っていても処遇改善や人手不足解消は進まないどころか小さな事業所の閉鎖・倒産が促進され、介護難民や虐待などが深刻化するし

かないことがよくわかる講演でした。

介護報酬マイナス改定については、良心的事業所ほど打撃が大きいという理不尽、マイナス改定で削減される国費六百億円、はオスプレイ五機分にすぎないこと（全体の防衛費は五兆円）等怒りにたえない話ばかり。

給付削減と負担増の「改革」

法制度「改革」については、十年後を見据えた始まりにすぎないという怖い話。訪問介護とデイサービスから要支援者をはずし、市町村の「安上がり介護」へとシフトす

る改悪内容は二年以内の期限つきですが、当の市町村はほとんどが準備や財源がないと答えている現実。特養申し込み待機者は現入所者の数とほぼ同数、ここから要介護1と2の人を原則は対象外とするという改定は四月から実施されていますが特養の絶対的不足こそが大問題です。

また所得や貯蓄によって自己負担を引き上げる結果、必要な介護を奪われる、事業所の閉鎖や倒産で介護職員が解雇や失業の憂き目にあう等、国の方針のデタラメさが浮き彫りにされました。

生き残り戦略は闘い

「こうすればあなたの事業所だけは厳しい環境でも生き残ることができると」というのが、ふつう巷で開催される、高い参加費のセミナーですが、日下部さんの学習会は「介護の関係者が連帯して国や自治体に要求を出し、闘って制度・政策を変えていくことが生き残る唯一の道」という内容です。その実例として、もともと臨時的な政策として実施された処遇改善加算が今回も残った事実、その他が示されました。

法改定と介護報酬引下げについて、具体的要求案が例示されたことも大

いに参考になりました。

ここで学んだことを活かし、具体的な要求と行動を共につくっていきたいと思います。また介護関係者が気楽に交流・助けあい・相談などできる場をつくっていくことも大切です。

こうした一步として六月十七日の懇談会を持ちます(ヒラ参照)。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

担当 川口・大野

6/17

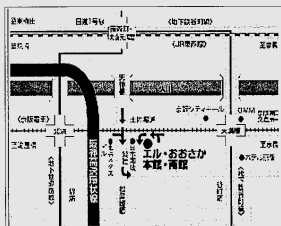
(水) 午後6時半～

エルおおさか 6階 研修室4

「安心できる介護を!懇談会」

いっしょにつくっていきませんか?

介護・医療現場で働いている方、介護事業者の皆さん 大歓迎!



□こんなことをめざしています□

- ★介護労働者の賃金アップ・処遇改善
- ★働きがいのある職場づくり
- ★「安心できる介護」を実現するために介護事業者と職員と利用者・家族の協同。

□そのために□

- ☆介護や医療で働く者どうしが繋がろう!
- ☆交流、情報や意見の交換、助け合い、学習会や職場の悩み相談の場をつくらう!

☆事業所の存続さえ脅かす介護報酬減額、法と制度改悪は放置できません。職員と事業者が連携し国や自治体と交渉していきましょう!

●6月17日の予定●

- 前半] 参加者が互いに介護職場の現状や意見や悩み等を出しあい交流しましょう。
- 後半] 国や市町村に介護現場の現状を訴え、改善を要求する為に申入書案を準備します。要望や意見をお聞かせて下さい!

連絡先

【労働運動の再生をめざす懇談会介護医療部会/安心できる介護を!懇談会(準)】

552-0011 大阪市港区南市岡3-6-26

NPOみなと合同ケアセンター(川口・大野)

電話 06-6583-4880

★7月上旬ごろ、厚生労働省交渉を予定。

★要求がまとまり次第、大阪市へも要求を出し交渉していく予定です。

～ふるってご意見・ご参加をお願いします。

佐藤昭夫先生

「『武力信仰』悪夢再現を憂える」を発刊

五月七日東京で出版記念会が開かれ港合同から三名が参加しました。先生は「これまでの体験に基づいて、戦争の悲惨をくり返さない為、何が必要か、というのが問題意識……米寿の機会に、これまでの思いをふり返つての思いを書くことができました。……次の世代、社会への私の遺言のようなもの」と語られました。労働争議や反原発運動に関わって書かれた二〇に及ぶ意見書・告発状・陳述書の中に南労会闘争の意見書と告発状が二つもあります。こんな形で残して頂き、今後の闘いの一助になれるかも知れないと思うと感慨深く感謝の気持ちで一杯です。原稿をお連れ合いにみてもらった出たのでわかりやすく印象的でした。

先生、これからもお元気で。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!